



2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年10月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札

(氏名) 桐生 宇優

(氏名) 高橋 徹

TEL 011-558-7000

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	18,960	1.4	287	162.4	301	154.1	197	
2023年2月期第2四半期	18,690		109	53.3	118	52.5	68	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	156.02	
2023年2月期第2四半期	54.49	

(注)2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。なお、比較対象となる会計処理方法が異なるため、2023年2月期第2四半期の売上高に関する対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	17,474	5,472	31.3	4,329.43
2023年2月期	17,695	5,328	30.1	4,216.19

(参考)自己資本 2024年2月期第2四半期 5,472百万円 2023年2月期 5,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		50.00	50.00
2024年2月期		0.00			
2024年2月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,100	1.0	402	6.9	420	0.4	199	55.0	157.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	1,264,640 株	2023年2月期	1,264,640 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	725 株	2023年2月期	725 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	1,263,915 株	2023年2月期2Q	1,263,950 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年3月1日～2023年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和が進み、経済社会活動の正常化が進む中で個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な世界情勢の影響などから資源価格や原材料価格は高止まりしており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社は2024年2月期から2026年2月期までの中期3ヵ年経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化(6MD商品政策の推進)
- ②来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱(6MD)のうち、特に「テイスティラッキー」(高品質商品)、「ナチュラルラッキー」(オーガニック食材など)の二つに重点を置いております。これにより、お客様には品質の差を訴求し、競合他社との優位性を築きたいと考えております。

②③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2023年8月末で62.0%となり、前年同月末の59.1%から2.9%増加いたしました。ファミリー顧客層の深耕につきましては、この3月に新設したフードコーディネーター部による新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買い回りしやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中する事でコスト削減を実現しています。

⑤につきましては、2023年10月以降順次各店にセミセルフ/フルセルフレジを導入する予定となっております。同時に行うキャッシュレス決済端末の入れ替えと併せ、待ち時間の短縮を実現いたします。このレジ更新により経費の軽減も見込まれ、コスト体質改善も実現いたします。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善を目指します。

また、商品配送にかかる諸問題解決のため、この5月、当社を含め小売業、卸売業、配送業を行う9社が集まり「北海道物流研究会」を発足いたしました。この会は、関連各社が協力し合うことで、物流業界の人手不足問題、いわゆる「2024年問題」を回避する事を目的としています。今後も加入企業が増えることが見込まれ、大きなうねりとなることで小売業における商品配送の無駄を削減し、ひいては環境問題にも貢献できる仕組みを模索いたします。

当第2四半期の売上高は189億60百万円と前年同期比2億70百万円、1.4%の増加となり、営業総利益は54億63百万円と前年同期比1億54百万円増加し、営業総利益率は28.8%と前年同期比0.4%増加いたしました。

販売費及び一般管理費は、51億75百万円と前年同期比23百万円、0.5%の減少となりました。費目別では、エネルギーコストの高止まりを反映し水道光熱費が69百万円増加いたしました。一方、給料及び手当が19百万円、雑給が30百万円、新型コロナウイルス感染症の5類移行により手袋やマスク等の使用量が減少し消耗品費が40百万円減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高189億60百万円(前年同期比1.4%増)、経常利益3億1百万円(同154.1%増)、四半期純利益1億97百万円(前年同期は四半期純損失68百万円)となりました。

当第2四半期累計期間における店舗の状況につきましては、新設店舗はありませんでしたが、2023年4月にシテイ稚内店の改装を実施しており、また、経営資源の最適化を図るため同年5月14日付でラッキー衣料館手宮店を閉店しております。2023年8月31日現在の店舗数は、32店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して2億20百万円減少し、174億74百万円となりました。

その主な要因は、売掛金の増加が1億16百万円であったものの、現金及び預金の減少が1億46百万円、未収入金の減少が1億6百万円、建物の減少が1億3百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して3億63百万円減少し、120億2百万円となりました。

その主な要因は、買掛金の増加が4億45百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加が5億20百万円であったものの、短期借入金の減少が13億円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して1億43百万円増加し、54億72百万円となりました。

その主な要因は、株主配当金による63百万円の減少があったものの、四半期純利益1億97百万円の計上及びその他有価証券評価差額金が9百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億46百万円減少し、4億98百万円(前事業年度末残高は6億45百万円)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、7億34百万円(前年同四半期は8億27百万円の獲得)となりました。

これは主に、売上債権の増加額1億16百万円等の支出があったものの、税引前四半期純利益2億90百万円、減価償却費2億6百万円、仕入債務の増加額4億45百万円等の収入があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、21百万円(前年同四半期は5億21百万円の獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が49百万円であったものの、差入保証金の回収による収入が85百万円であったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、9億3百万円(前年同四半期は15億64百万円の使用)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が11億51百万円であったものの、短期借入金の純減少額が13億円、長期借入金の返済による支出が6億31百万円であったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間におきましては、2023年4月19日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました業績予想と実績に差異が生じる結果となりました。詳細につきましては、本日(2023年10月10日)公表の「2024年2月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、2024年2月期の業績予想につきましては、現時点において2023年4月19日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありませんが、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,875,209	1,728,906
売掛金	973,072	1,089,238
商品及び製品	1,525,988	1,555,184
原材料及び貯蔵品	54,125	53,436
前払費用	88,345	99,104
未収入金	447,665	341,300
その他	10,389	9,197
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	4,974,529	4,876,101
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,398,328	11,420,554
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,472,363	△7,597,604
建物(純額)	3,925,965	3,822,949
構築物	769,020	769,020
減価償却累計額及び減損損失累計額	△629,823	△640,669
構築物(純額)	139,196	128,350
機械及び装置	2,176	2,176
減価償却累計額	△970	△1,091
機械及び装置(純額)	1,205	1,084
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	515,298	441,612
減価償却累計額及び減損損失累計額	△487,519	△410,255
工具、器具及び備品(純額)	27,779	31,357
土地	6,038,177	6,038,177
リース資産	596,370	652,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△282,608	△268,210
リース資産(純額)	313,762	383,832
建設仮勘定	—	3,234
有形固定資産合計	10,446,086	10,408,986
無形固定資産		
ソフトウェア	38,766	30,393
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	56,995	48,622
投資その他の資産		
投資有価証券	202,918	215,789
出資金	479	479
長期前払費用	55,559	50,935
繰延税金資産	410,501	395,329
差入保証金	1,548,716	1,478,720
投資その他の資産合計	2,218,175	2,141,254
固定資産合計	12,721,258	12,598,863
資産合計	17,695,787	17,474,964

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,344,817	2,790,506
短期借入金	3,950,000	2,650,000
1年内返済予定の長期借入金	1,024,830	1,065,168
リース債務	112,439	132,585
未払金	449,300	313,172
未払費用	316,623	376,643
未払法人税等	66,004	112,987
未払消費税等	147,302	82,594
前受金	17,520	18,780
預り金	766,341	712,919
賞与引当金	99,197	163,006
流動負債合計	9,294,377	8,418,363
固定負債		
長期借入金	1,596,986	2,076,787
リース債務	269,009	316,456
退職給付引当金	861,392	847,989
長期預り保証金	258,458	256,219
資産除去債務	65,012	65,461
長期未払金	21,650	21,650
固定負債合計	3,072,509	3,584,563
負債合計	12,366,887	12,002,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,835,251	1,969,245
利益剰余金合計	4,300,251	4,434,245
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,291,220	5,425,214
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,679	46,822
評価・換算差額等合計	37,679	46,822
純資産合計	5,328,899	5,472,037
負債純資産合計	17,695,787	17,474,964

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	18,690,256	18,960,443
売上原価	13,516,015	13,627,503
売上総利益	5,174,240	5,332,940
営業収入		
不動産賃貸収入	134,259	130,105
営業収入合計	134,259	130,105
営業総利益	5,308,499	5,463,045
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	163,217	155,762
配送費	426,933	427,355
販売手数料	65,949	71,287
給料及び手当	992,701	973,028
賞与引当金繰入額	149,150	163,006
退職給付費用	52,626	51,963
雑給	1,236,346	1,205,713
水道光熱費	453,983	523,133
減価償却費	219,060	206,855
地代家賃	418,901	405,817
その他	1,020,049	991,610
販売費及び一般管理費合計	5,198,920	5,175,534
営業利益	109,579	287,511
営業外収益		
受取利息	2,439	2,014
受取配当金	7,689	7,592
受取事務手数料	6,739	3,405
助成金収入	970	1,231
雑収入	6,103	10,522
営業外収益合計	23,942	24,766
営業外費用		
支払利息	12,592	9,910
社債発行費償却	362	—
雑損失	1,912	865
営業外費用合計	14,867	10,776
経常利益	118,654	301,500
特別損失		
減損損失	1,638	6,420
固定資産除売却損	208,453	4,184
特別損失合計	210,091	10,604
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△91,437	290,896
法人税、住民税及び事業税	4,985	82,261
法人税等調整額	△27,552	11,444
法人税等合計	△22,567	93,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,870	197,190

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△91,437	290,896
減価償却費	219,060	206,855
長期前払費用償却額	5,511	4,624
減損損失	1,638	6,420
賞与引当金の増減額 (△は減少)	48,020	63,809
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,441	△13,403
受取利息及び受取配当金	△10,128	△9,606
その他の営業外損益 (△は益)	△11,901	△14,293
支払利息	12,592	9,910
有形固定資産売却損益 (△は益)	205,199	—
固定資産除却損	3,254	4,184
売上債権の増減額 (△は増加)	△138,962	△116,166
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,607	△28,506
仕入債務の増減額 (△は減少)	416,828	445,688
預り金の増減額 (△は減少)	77,223	△53,421
未払消費税等の増減額 (△は減少)	107,020	△64,707
預り保証金の増減額 (△は減少)	△9,602	△2,239
その他	28,412	30,909
小計	855,562	760,952
利息及び配当金の受取額	7,850	7,673
その他の収入	13,813	15,159
利息の支払額	△12,668	△9,713
その他の支出	△1,912	△865
法人税等の支払額	△35,433	△38,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	827,211	734,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,130,000	—
定期預金の払戻による収入	1,130,000	—
有形固定資産の取得による支出	△234,915	△49,358
有形固定資産の売却による収入	700,000	—
無形固定資産の取得による支出	△1,582	△640
差入保証金の差入による支出	△3,052	△5,717
差入保証金の回収による収入	65,990	85,263
その他	△5,119	△7,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	521,319	21,932

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000,000	△1,300,000
長期借入れによる収入	1,200,000	1,151,666
長期借入金の返済による支出	△633,000	△631,527
リース債務の返済による支出	△67,816	△60,173
自己株式の取得による支出	△115	—
配当金の支払額	△63,194	△63,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,564,126	△903,138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△215,595	△146,302
現金及び現金同等物の期首残高	591,934	645,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	376,338	498,906

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。